



県政会 笠間しげじの県政報告

平成26年12月号

ガンバルマン ニュース

発行人：笠間しげじ 〒252-1123 綾瀬市早川3211 TEL:70-2339 FAX:78-2348 E-mail: kasama@fine.ocn.ne.jp URL: http://shigeji.com/



平成26年度 第3回 県議会定例会 (県政会)代表質問会

平成26年
12月1日(月)

1. さがみロボット産業特区について

ロボット関連産業の振興や裾野の拡大、関連産業の集積を一段と加速し、将来は「さがみ」の地において、生活支援ロボットを軸とした新たなものづくり産業が創出されるよう、取組を進めていただきたいと考える。既存製品のロボット化を推進するなど、これまでロボットに関わりの薄かった県内中小企業のロボット産業への参入をさらに促進すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

〈知事答弁〉今ある技術を使い、スピード、コストを押さえ新しいプロジェクトに挑むため、開発した者の横のつながりを利用し、安心して参加できる様に推進していく。

2. まちづくりに係る諸課題について

(1) 「かながわのみちづくり計画」の推進

平成28年度までの計画期間内に整備推進や供用などを図る箇所を「整備推進箇所」と位置づけて、着実に整備を進めている。また、「事業化検討箇所」として、地元

や関係機関と調整しながら事業化に向けた検討・調整を行う箇所を位置づけている。

「かながわのみちづくり計画」に位置づけられている「事業化検討箇所」について、これまでの検討状況と今後事業化に向け、どのように取り組んでいくのか。知事の所見を所見を伺いたい。

〈知事答弁〉道路整備は、「かながわのみちづくり計画」に基づき着実に進んでいるが課題も山積しており、広域的なネットワークをつかひながら、よりいっそう課題解決に向かっていかなければと

(2) 空き家対策

高齢者が多い地域であれば、高齢者が集まる憩いの場や、高齢者を支援するNPOの拠点なども必要となり、空き家をこのような地域にとって必要な施設として活用することも有効と考える。

今後、県は空き家対策についてどのように取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

3. 地域における医療体制整備や暮らしやすい社会づくり

(1) 医療の偏在など、地域医療をめぐる課題への対応

県は市町村や医療関係団体と連携し、全県で同様の保健医療サービスを提供できるよう医療提供体制の整備に取り組んでいく必要があると考えるが、県内全体を地域別に見た場合、救急医療機関の配置の偏在や周産期救急医療、小児救急医療の充実度に差が生じている。また、県内の医師数についても産科や小児科などの特定の診療科の医師不足など課題がある。

地域における医療提供体制や診療科による医師の不足や偏在などの諸課題に対して、その解決に向け今後どのように取り組んでいくのか、所見を伺いたい。

〔知事答弁〕 医療の対応、救命等の充実度に偏りがあり、医療従事者の確保が重要で、地域医療センターを設け地域にあった適切な医療が出来る様にしていきたい。

〔2〕国民健康保険の都道府県への運営移管

社会保障制度改革プログラム法により、県が財政運営を担うこととなったことから、県が指導力を発揮して保険料の県内均一化や全市町村が健康増進対策に取り組むことのできる環境をつくるべきである。

国民健康保険の移管にあたっては県が指導力を発揮して、市町村が医療費適正化に積極的に取り組めるようなしくみにすべきと考え、移管後のしくみについて県としてどのように考え、国に働きかけていくのか所見を伺いたい。

〔知事答弁〕 市町村の医療費適正化に必要な財源を確保出来るよう国に働きかけていき、市町村を支援していく。

〔3〕高齢者が生きがいを持って暮らしていける社会

元気な高齢者が増加する中、健康寿命日本一に向けて、健康増進に視点を置いた取組みはもちろん重要だが、併せて社会参加、それから生きがいづくりにもより目を向けていく必要があると考える。

超高齢社会を迎える中、高齢者が生きがいを持ち、社会参加しながら暮らしていける社会としていくために、どのような考えで取り組んでいくのか所見を伺う。

〔知事答弁〕 高齢者の取り組みの中で夢神奈川フェスタを県では開催し、年々参加者が増え多くの方が参加している。もっと魅力ある大会にしていくため競技種目を増やし社会参加をすることで健康増進に役立てていきたい。

4. 基地対策

〔1〕厚木基地に関する取組

厚木基地の地元では、米空母艦載機が移駐した後の厚木基地の姿についても高い関心があり、移駐後、米軍による基地使用はどうなっていくのか、また、騒音はどう変化し、国の騒音対策事業はどうなっていくのか、という点について情報を収集し、地元住民に提供していく必要がある。

厚木基地に関して、空母艦載機移駐の早期実現に取り組むことはもとより、移駐後の厚木基地の姿も見据え、しっかりと情報を収集するとともに、将来像を示していく必要があると考えるが、知事の所見を伺う。

〔知事答弁〕

厚木基地の空母艦載機航空隊は岩国基地へ移り地元への基地負担が減る。地元と連携して国へ情報を収集し公開するよう働きかけていきたい。

〔1〕これからの基地対策

日米安全保障条約に基づく在日米軍の抑止力の重要性は言うまでもないが、こうした国際情勢の影響等により、基地の返還が遠のき、さらには地元の基地負担も増

えていくのではないかと不安視されている。こうした情勢のもとでも、基地の返還を進めるとともに、返還されるまでの間は、地元の基地負担を軽減させるための取組が必要だと考える。

我が国周辺の安全保障環境が厳しさを増し、日米の防衛協力がより一層進められようとしている中で、県として、基地の返還や基地負担軽減をどのように進めていくのか、知事の所見を伺う。

〔知事答弁〕

基地や施設の移転に伴い跡地利用についての問題が考えられる。地元と連携して国との対応を考えていきたい。地元にとって有利になる様にしていきたい。

5. 地域産業の活性化

〔1〕地域産業の活性化に向けた取組

地域産業の活性化を図るには、小売店が無い地域に商業を呼び込み、育てていくようなモデルを、行政や関係機関が関わって生み出していくことが必要だ。こうした取組は、地域のニーズをよく聞きながら進めていく必要があるが、市町村や商工団体と連携を深めていくことが重要となり、市町村等の広報誌への掲載や、公民館などの公共施設や公園の利用許可など、行政がより積極的に支援することにより大きな効果が期待できる。

地域産業を活性化するため、県としてどのように取組んでいくのか、知事の所見を伺う。

〔知事答弁〕 商業者を育成していくことが重要であり、段階的に考えていくことによりリスクを低くしていくことが大切であり、地域の朝市等からスタートし、地域とつながりを持ち、商業者の新規参入を促進していく。県としては、朝市の支援をしながらサポートをしていく。

〔2〕企業的な農業経営体の育成等

将来に渡って安定的な農業生産を確保していくためには、何よりも収益性の高い農業、「儲かる農業」を展開していくことが重要であり、意欲、能力のある農業者を企業的な農業経営体に育成したり、企業等の農業参入を積極的に促していくことが必要と考える。

将来にわたって収益性の高い都市農業を推進するため、企業的な農業経営体の育成等について、県としてどのように取り組んでいくかと考えているのか、知事の所見を伺う。

〔知事答弁〕

企業の農業への参入に対して、出来るだけ障害をなくし参入に必要な物は支援し、県は県内農業の推進役としていく。

要 望

・かながわのみちづくり計画の推進

私の地元の綾瀬市においても、都市計画道路 寺尾上土棚線という重要な事業化検討箇所があるので、今後は、県と市町がより一層連携を強化し、平成28年度の改定

までには事業化できるよう、しっかりと取り組んでいただくよう強く要望する。

・収益性の高い都市農業の推進

収益性の高い農業、企業的な農業経営等が展開されれば、農家の後継者は就農し、さらに雇用という形で外から意欲ある人材を確保することも期待できるのではないかとと思う。

収益性の高い都市農業の推進に向けて、農産物の販売面では農商工の連携策など、県としての取組みをしっかりと進めていくよう要望する。



本議会の傍聴に訪庁された後援会の方々と共に